



input → output

溝田コレクション × 光島貴之

2011年12月9日(金)～2012年2月5日(日)

女子美アートミュージアム 10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 : 火曜、および年末年始12月28日(水)～1月9日(月)

入館料 : 300円(学生、未就学児、65歳以上、身体障害者手帳をお持ちの方は無料)

主催 : 女子美術大学美術館

協力 : イーノックス株式会社、日本赤十字社神奈川県ライトセンター、株式会社らくだスタジオ、ミュージアム・アクセス・ビュー

後援 : 相模原市、相模原市教育委員会

美 女子美術大学

JAM

2006年、本学名誉教授・溝田コトエによって収集された作品が「溝田コレクション」として当館に収蔵されました。本展覧会では、溝田が作家活動を通じて交流のあった江口週、建島覚造、保田春彦などを中心に、コレクション作品を、当館にて初めて公開いたします。

また当館では、本学学生サポートスタッフを中心に、視覚にハンディのある方と一緒に作品を鑑賞するプログラムを2009年から年に1～2回のペースで実施しています。このプログラムからの展開として、本展では、作家・光島貴之と学生サポートスタッフと一緒にコレクション作品を鑑賞し(input)、鑑賞の体験をもとに光島が作品を制作する(output)という、新たな試みに挑みます。



《根なし草1 Déraciné 1》1986

溝田コトエ Mizota Kotoe

1931年横浜生まれ。1956年女子美術大学芸術学部洋画科卒業。1964年パリ国立高等装飾美術学校壁画科に編入学。以後も度々取材に渡欧し、成果を個展で発表。1997年まで女子美術大学にて教鞭をとる。女子美術大学名誉教授。



《響き合う線II》2002

光島貴之 Mitsushima Takayuki

1954年京都生まれ。10歳頃失明。1995年から、カッティングシートやラインテープを用いた独自のスタイルで「触る絵画」の制作を開始。2002年、対話しながら絵を鑑賞するグループ「ミュージアム・アクセス・ビュー」の結成に参加。2006年株式会社中川ケミカル「第14回CSデザイン賞」受賞(奨励賞)。近年、音の作家などとのコラボレーションを試みる一方、海外でも発表とワークショップの機会を得ている。

関連イベント (全て参加費無料、当日先着順。ただし入館料必要。)

光島貴之 公開制作	12月10日(土) 13:30～
溝田コトエ ギャラリートーク	12月14日(水) 13:30～
片岡亮太 × 光島貴之 即興演奏・制作 (和太鼓奏者)	1月21日(土) 15:00～

公開制作、ギャラリートーク、即興演奏・創作は、展示室で行います。定員はありませんが、混雑により、展示スペースとして安全性に問題が生じた場合、ご参加いただけないことがあります。ご了承ください。

アクセス

- ①小田急相模大野駅北口バス乗り場 3番「女子美術大学」行き乗車約20分
※平日・土曜日午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前乗り場4番より乗車
- ②JR横浜線古淵駅バス乗り場2番「女子美術大学」行き乗車約15分
- ◎車でご来場の方は市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください。

神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス10号館1階
042-778-6801
<http://www.joshi.ac.jp/>

